

● 弘 報 (特 報)

傳染病予防について

善通寺町の皆さん

今本町の名譽にかけて是非とも皆さんの御協力によつて善處しなければならぬ大きな問題、それは皆さん御承知の本町に於ける赤痢病流行その爲に開催が危ぶまれて居る来月六日の本町に於ける全国バドミントン大会とについて皆さんに訴え度いご存じます。

此頃新聞ラヂオ等で御承知の通り、本年は全国的に赤痢患者が前年度の數倍に達し今後益々流行時期に際しまして誠に憂慮に堪えぬ次第であります。本町に於きましても不幸七月中旬頃から半ば集団的に赤痢患者が発生し、現在では初発以來三十名に達し今日尙散發的に患者の續發を見、終息の予断を許さない状況で町当局と致しましても全機能を發動して去る七月二十五日以來町役場に防疫本部を設け、縣予防課及琴平保健所の方々の一方ならぬ御協力を得万全の予防対策を講じつゝある次第ですが、時あたかも全国バドミントン大会の開催に際し近く本町としては未曾有の大多數の大会關係の御客様を御迎えする事になつて全町旅館業の方々を總動員してこれに當るべく準備万端整えつゝある際でありますので万一現在のような状況が今後數日間續く事になりますと、折角の此度の大会も本町開催が出来ないような最大の不幸事が起らないとも限らない誠に大事な瀬戸際に立つて居るのであります。こゝはごうでもして皆様の御協力によつて万に一つもそんな事のないように今後本町から一人の赤痢患者も出さないように致し度いものです、つきましては左に赤痢予防の要点を申上げて御参考に致し度いご存じます。

一、生水、生物は決して食へぬ事。

二、小川、ため池の水殊に患者發生附近のそれは尤も危険ですから水泳はもとよりその水を使い水にせぬ事。

三、蠅の驅除を勵行して食物や食器などにたからさないよう。

四、寢冷、暴飲、暴食は赤痢發病のもご。

五、用便後又は食前には必ず消毒薬又は石けん水で手指を、ていねいに洗う事。

六、流行時には保菌者又は輕症者で一見赤痢患者と見えないう赤痢菌を持つて居る人が多數居るのが普通ですから下痢症の方は輕くても必ず醫師の診断を受けるか檢便(町役場衛生係へ御申出下さい)を御受けになるよう御願ひ致します。

昭和二十七年七月三十日